

## 令和7年度 事業報告

令和7年度は、当センターにとって「シルバー人材センター改革の年」と位置付け、将来にわたって持続可能な運営体制を確立するための大きな転換点となりました。

西宮市制100周年の佳節に合わせ、インボイス制度による財政的負担への具体的な方策やシルバー人材センターが安定した運営を維持、継続するため、当センター独自の経営改善策となる「西宮市シルバー人材センター経営改善戦略」の策定に着手し、新たな事業開拓や組織改革の先鞭として、職員の正規化とともに正規職員等の採用試験を実施するなど組織、経営基盤の再構築に臨む一年となりました。

事業高は、前年度比で請負・委任は7.7%の増、また派遣で12.7%の増となり、全事業では前年度比8.6%、約6,300万円の増となり、およそ7億9,300万円となりました。これは、参議院議員通常選挙、衆議院議員総選挙及び西宮市長選挙等に伴う選挙公報に加え、令和8年4月からごみの新分別区分が導入されることに伴う広報紙など、令和7年度に限ったスポット配布11事業による効果です。一方で、定期配布の市政ニュースは、令和8年度より月2回から1回への変更も公表されました。

会員数では、入会説明会の開催回数を増やすとともに出前入会説明会を継続して開催、センター活動のDVDの再編集や家庭草抜き事業の機械化による会員の負担を減らす事業導入の紹介を進めましたが、10月以降、退会者数が入会者数を上回る状況が続きました。2月には複数のセンター委員会委員による2日間にわたる大型商業施設でのシルバーPR活動を行うなど、新たな取組により、新規入会者数を獲得しましたが、最終的には前年度より64人の減の2,238人となり、残念ながら目標の2,350人には届きませんでした。

就業率は、82.4%と前年度に比べ、2.3ポイント上昇し、目標の80%を達成しました。安全面では、傷害事故及び賠償事故数は15件で、昨年度に比べ7件の減となり、一昨年度に比べても3件の減という状況でした。月報（Smile to Smile）での継続した啓発に加え、自転車にも青切符（交通反則通告）制度が導入されるといった県警等の広報活動も影響したものと推測しています。

このように令和7年度は、「会員数」を除き、「就業率」、「事業高」の目標は達成することができました。特にスポットでの広報紙配布事業が事業高を押し上げました。

また「シルバー改革」の第一歩として、組織、経営の両面から土台作りに着手し、人的資源への投資に加え、文教住宅都市といった本市の性格に適応した住宅地や教育機関等への新規就業開拓を実施するなど、外部環境に左右されない、自立した安定的な経営基盤の構築を図ることで、インボイス制度下における財政基盤の強化に向けた将来的な方向性を定めることができました。

今後も、西宮市をはじめとする関係機関との更なる連携を図り、会員が誇りを持って就業できる環境を堅持し、さらなる経営の高度化を目指してまいります。

# 1. 事業実績

## (1) 事業高

### 請負・委任の事業高

民間大手流通業者の品出し業務の削減等、受注の終了や減などにより、民間・一般家庭・独自事業の各事業は減少となりました。公共事業では、複数回の選挙公報や広報紙のスポット配布等大きく増となり、請負・委任の事業高は、前年度比 107.7% 増、約 45,000 千円増の約 635,535 千円となりました。(単位：円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度比(%)	
公共事業	138,667,724	135,426,599	186,714,072	51,287,473	137.9
民間事業	383,378,511	388,979,791	384,703,887	▲4,275,904	98.9
一般家庭	67,351,968	63,299,376	61,918,240	▲1,381,136	97.8
独自事業	2,334,223	2,503,165	2,199,155	▲304,010	87.9
合計	591,732,426	590,208,931	635,535,354	45,326,423	107.7

#### 令和7年度契約形態別事業高内訳

	受託契約	包括的契約	合計	包括的契約に係る収益
公共事業	186,714,072	0	186,714,072	0
民間事業	384,703,887	0	384,703,887	0
一般家庭	32,079,731	29,838,509	61,918,240	3,828,575
独自事業	2,199,155	0	2,199,155	0
合計	605,696,845	29,838,509	635,535,354	3,828,575
正味財産増減計算書	受託事業収益			受取センター業務委託料

### 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

西宮市からの新規受注などにより、事業高は約 157,511 千円となり、前年度比 112.7%、約 17,733 千円の増となりました。(単位：円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度比	
事業高	128,518,388	139,778,300	157,510,867	17,732,567	112.7%
会員賃金	101,893,599	111,453,222	124,426,715	12,973,493	111.6%
手数料等	26,624,789	28,325,078	33,084,152	4,759,074	116.8%
派遣事業収益	11,643,500	12,049,400	13,659,525	1,610,125	113.3%

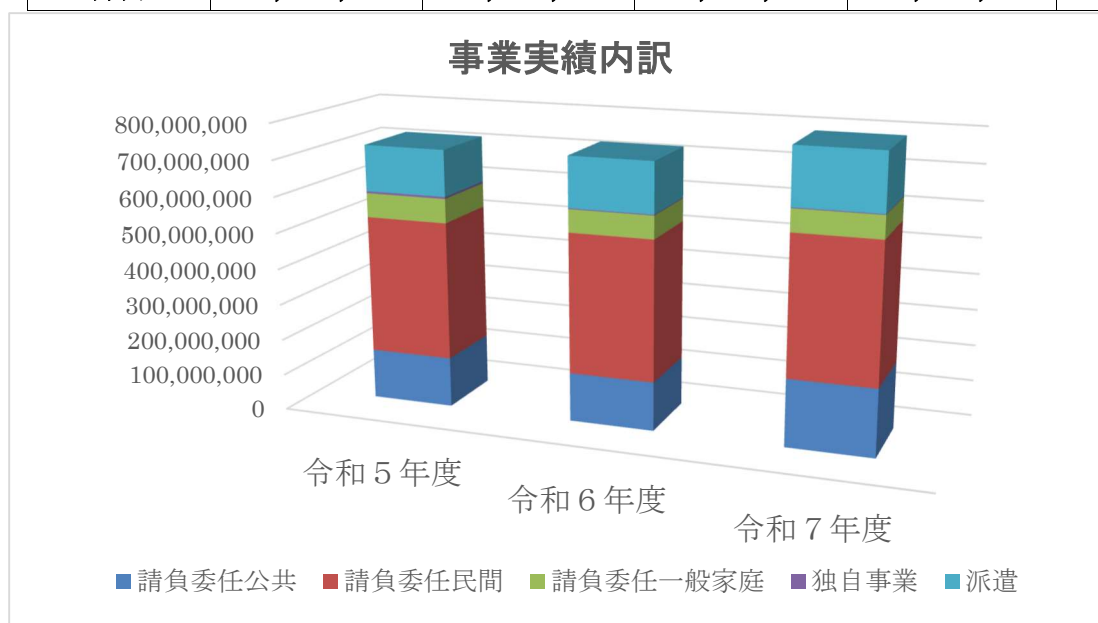
※派遣事業収益は、上段手数料等の内、兵庫県シルバー人材センター協会からの収益額

## 「請負・委任」＋「派遣」の合計事業高

請負・委任業務、派遣を合わせた全体の事業高合計は、793,046千円で、当初目標の680,000千円を大きく上回りました。主な要因は、請負・委任契約の単発広報紙配布の受注増によるものです。労働者派遣事業では、公共からの新規事業により、前年度比約108.6%、約17,733千円の増となりました。

(単位：円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度比	
請負委任	591,732,426	590,208,931	635,535,354	45,326,423	107.7%
派遣	128,518,388	139,778,300	157,510,867	17,732,567	112.7%
合計	720,250,814	729,987,231	793,046,221	63,058,990	108.6%



## (2) 会員数

令和7年度末の会員数は2,238人で、前年度比97.2%と減少しました。313人の新入会員に対し、退会会員は377人で、年間を通し64人の減となりました。

会員数 男女等内訳

(単位：人)

区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度比	
入会者	387	445	313	▲132	70.3%
退会者	354	416	377	39	90.6%
増減	33	29	▲64	▲93	
<b>会員数</b>	<b>2,273</b>	<b>2,302</b>	<b>2,238</b>	<b>▲64</b>	<b>97.2%</b>
男性	1,440	1,467	1,411	▲56	96.2%
女性	823	821	811	▲10	98.8%
粗入会率※	1.54%	1.54%	1.47%		

※粗入会率 会員数/西宮市 60 歳以上の人数（住民基本台帳 3 月 31 日現在）

### （3）就業率

就業率は約 82.4%、就業実人員は前年度より 2 人増加し当初計画を達成しました。（単位：人）

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	前 年 度 比	
会 員 数	2, 273	2, 302	2, 238	▲64	97. 2%
就 業 率	81. 0%	80. 1%	82. 4%	+2. 3p	
就業実人員	1, 841	1, 843	1, 845	2 人	100. 1%
就業延人員	186, 330	181, 311	180, 224	▲1, 087	99. 4%

※上記数字は請負・委任 + 労働者派遣事業の合計

## 2. 具体的な取組

### （1）会員拡大と就業意識向上への支援【会員増強委員会】

入会説明会の開催回数を増やし、出前入会説明会を実施し、職員との面談を重視する事で就業に繋がるよう努めた。

#### 入会説明会

（単位：人）

実施月（回数）	参加人数	登録人数	入会率
4～6 月（9）	100	91	91. 0%
7～9 月（7）	49	45	91. 8%
10～12 月（10）	82	69	84. 1%
1～3 月（11）	105	93	88. 6%
合計（37 回）	336	298	88. 7%

#### 出前入会説明会

（単位：人）

10 月 16 日	参加人数	登録人数
西宮市民会館	57	36

- ・センター制作の DVD でシルバー人材センター活動の説明を行った
- ・DVD 内容の補足説明を職員から行った。
- ・先輩会員が就業の体験談発表することを継続し行った。
- ・事前に説明会申込者に、電話による参加勧奨を行った。

#### 未就業会員への就業促進活動及び就業意識向上

- ・新入会員交流会を 3 カ月毎に開催し、お互いの交流を増やした。

#### 会員力の向上

- ・就業に繋がる講習会の実施
- ・清掃業務の勉強会 ・ハラスメント勉強会 ・毛筆筆耕講習会

#### 会員拡大

- ・シルバー人材センター前掲示板に募集チラシ、ポスターを常時掲載

- ・2月26日(木)、27日(金)、就業開拓委員会等と「ららぽーと甲子園」でPR活動として新入会員説明会の参加を勧奨し52名の参加希望者を得た。

## (2) 地域ニーズに応える就業開拓活動の推進【就業開拓委員会】

### 事業所等への訪問活動

業種別に見込み先を作成し事業所等72件訪問。就業提案、情報収集、PR活動を行った。

### 広報・PR活動

- ・ららぽーと甲子園オーシャンライドコートにてPRの催しを開催  
2月26日(木)、27日(金)、市民向けに入会相談、お仕事相談、パソコン・スマホ相談を会員増強委員会、デジタル化整備促進チームにて対応し、対面対応数約200名、入会説明会申込52名
- ・白水峡墓参バス利用者に西宮北口、市役所前にてPRティッシュの配布  
春は満池谷墓地も追加。春2日間470個 秋2日間460個
- ・市民祭りにてPRチラシ、ティッシュ配布(各500個)
- ・PRチラシを市内各所に配架依頼した。

西宮ハローワーク、公民館、市役所、国際交流協会、フレンテ西宮  
クリエート西宮(ららぽーと甲子園)、なるお会館等30カ所

## (3) 健康で安全に就業できる環境づくり【安全・適正委員会】

### 会員の健康と安全意識向上のための啓発活動の推進

- ・就業に関わる事故に対して、個々の事故の確認と検証を行った。  
年度を通じて傷害事故15件、賠償事故4件を検証(表参照)  
事件事案の内容により、会員と面談し再発防止に向けて注意と対策の確認を行った。
- ・夏季の就業対策を実施  
厚労省「熱中症対策義務化(6月1日施行)」に基づき、職場での対応について周知をはかった。  
熱中症予防対策として、除草・剪定業務を中心に就業基準を設け実施した。  
就業休止期間 7月16日～9月15日  
午前のみ就業の期間 7月11日～15日 9月16日～30日
- ・令和7年度「チャレンジ100」達成  
会員、職員10名が参加し、昨年度に引き続き100日間自動車運転無事故・無違反を達成(3年連続)
- ・安全就業スローガン作品募集  
兵シ協連携で、「安全就業スローガン」を会員に募集、選定3作品を推薦した。  
兵シ協安全衛生・適正就業推進委員会にて「佳作」受賞
- ・安全パトロールを実施

除草・剪定の就業現場へのパトロールを行い、点検リストに沿って安全基準の遵守状況を確認した。計4回（剪定班チーム各1回）

- ・交通安全講習会を実施 2月4日 29名参加  
自転車運転「青切符制度」の令和8年4月1日施行を踏まえ、西宮警察署の協力を得て実施した。
- ・救命講習会を実施 2月20日 9名参加  
心肺蘇生とAEDの操作体験  
消防署の認定講習を修了した安全・適正委員会委員2名が普及員を務めた。
- ・月報に健康・安全に関する啓発記事を掲載した。

- 4月号 「高齢者の健康診査」受診勧奨。「チャレンジ100」達成  
「7年度就業事故ゼロの毎日を」
- 5月号 「梅雨に向けて体調管理しっかり」。「自転車運転注意！青切符来年4月実施へ」
- 6月号 熱中症への注意喚起。健康診査受診勧奨。夏の交通安全週間運動
- 7月号 「鳴尾・鳴尾南地区熱中症対策講習会」、「就業での事故の事例」
- 8月号 「熱中症？のときの対応」、「就業での事故の事例」
- 9月号 「熱中症にまだまだ注意、新型コロナ再来？」「秋の交通安全運動」
- 10月号 「知っておきましょう #7119」  
救急車呼ぶ、呼ばない？ 迷ったら救急安心センターに電話を。
- 11月号 「インフルエンザ、スマホの見過ぎに注意」、「年末交通安全」
- 12月号 「体調管理、免疫力維持をしっかりと」、「就業での事故事例」
- 1月号 「今年も安全第一、毎日元気で」、「安全スローガン推薦作品」。
- 2月号 「高齢者転倒注意」、「自転車4月から青切符制度（講習会報告）」
- 3月号 「救命応急措置の体験講習会」、「自転車青切符制度4月スタート」

### 傷害事故及び賠償(物損)事故発生状況

令和7年度：傷害事故15件、賠償(物損)事故4件発生。（単位：件）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度増減
就業中	11	15	11	▲4
就業途上	7	7	4	▲3
(内自転車)	(5)	(5)	(4)	▲1
傷害事故 計	18	22	15	▲7
賠償事故	9	6	4	▲2

傷害事故、賠償事故とも一昨年、昨年比減少。

### 適正就業への取組

長期5年超え就業の会員の把握と後任への交代にむけた事務局の取組状況の確認を継続

## (4) 地区地域班活動の活発化【地区活動委員会】

## 地区地域班活動の活性化

- ・リーダー・サブリーダー会議や広報紙配布責任者会議において、地区間の課題整理と、事務局と地区との連携強化に努めた。
  - リーダー・サブリーダー会議 8月1日、11月7日、2月6日
  - 広報紙配布責任者会議 8月8日、11月12日、2月13日
- ・9地区の地区役員会に順次出席し地区役員との意見交換をした。
  - 8月18日（瓦木）、8月23日（鳴尾）、8月28日（津門今津）
  - 9月3日（鳴尾南）、11月12日（甲東）、11月19日（浜脇）
  - 11月20日（夙川）、12月24日（中央）、2月12日（塩瀬山口）
- ・地区地域班での会員相互の交流と親睦を兼ねた。
- ・班交流会や健康イベントなど実施されていた。
- ・地区役員により、地区内での重要な情報交換である地区だよりを発行した。

## 広報紙配布業務の課題整理

- ・広報紙配布業務は発注者から高い評価を得る中で円滑に実施できた。
- ・配布困難地域については、地区の理解を得ながら課題解決を図っている。
- ・配布完了報告書の簡素化や報告方法のデジタル化に向け意見集約に努めた。
- ・下記の広報紙を地区地域班・配布就業会員・仕分梱包会員・配布センター関係会員約700人の連携と努力により配布した。（単位：回）

市政ニュース	23
市議会だより	4
社会福祉協議会広報紙「しあわせ」	3
選挙公報、選挙ニュース	8
その他単発（健診案内、防災マップ、ハローごみ）	3

## 合同清掃ボランティア

11月15日 塩瀬山口地区（別日で実施）を除く8地区で実施  
参加会員 250名弱 燃えるゴミ・燃えないゴミ 計106袋を回収

## 公園パトロール業務

地域の子供たちが遊ぶ公園遊具の安全を確保するために、昨年度までの月に3回から1回になったが、市内全域約530カ所の公園で、遊具の等の安全点検業務を実施した。

## （5）組織活動の活発化【イベント推進委員会】

会員及び市民に開かれたイベント開催を目指し、下記の催しに取り組んだ各種講座については、「楽しく・ためになる」をモットーとした。

月日	イベント・講座	参加人数(人)	備考
4月7日	カフェ・ド・ヒロタ	172	広田山荘
4月22日	第5回グラウンドゴルフ大会	26	能登運動場

8月3日	夏休みこども工作教室	20	センター
10月3日	観月会	21	広田山荘
11月11日	終活講座	24	センター
2月2日	楽々ヨガサロン	10	広田山荘

### その他のイベント開催状況

- ・定例 ヒロタ de うたごえ 毎月第4火曜日開催  
毎回10人前後が参加（6～8月 1～2月は未開催）

### 社会貢献活動の継続

- ・西宮支援学校へインクカートリッジ、ベルマークの寄贈した。

## **（6）組織活動の活発化【広報委員会】**

会員向け広報活動を推進した。また、地区活動の活発化を目指した支援を行った。センターの認知度向上のため、多様な広告媒体を活用してPR活動に取り組んだ。

### 会員向け情報受発信の強化

- ・月報「シルバーにしのみや」を、会員の就業の様子や地区のイベントなどの記事を含め、毎月発行した。
- ・センターから会員向け情報を、適宜、発信した。
- ・インターネットを使った会員向け専用WEBサイト「Smile to Smile」による情報提供を行った。
- ・「Smile to Smile」の利用促進に向けて、スマホ相談会等の支援を行った。

### 全市民向け広報活動

- ・市民、事業所を対象にセンターのPR紙「翔アップ」の発行し、市内全域に配布した。
- ・市内190カ所の市の掲示板にポスターを作成、掲示し、認知度アップを図った。
- ・市内の路線バス1台の側面に、シルバー人材センターのPRをラッピングし、走行させ知名度アップと会員数拡大を図った。
- ・業務用車両2台に、シルバー人材センターのPRラッピングを継続し、認知度の向上と会員数の拡大に努めた。
- ・阪神西宮駅の東側改札付近の柱に、シルバー人材センターのPRポスターを掲示し、センターの周知に努めた。
- ・公式LINEおよびインスタグラムの導入を検討した。

## **（7）組織活動の活発化【理事会】**

- ・理事会、委員会、事務局が連携して事業運営を行った。
- ・インボイス制度及びフリーランス新法への対応について研究・協議を行った。
- ・持続的成長および自立的運営を実現する経営改善策（「経営改善戦略」）の策定に対し助言、指示を行った。
- ・常勤一般職員等の採用にあたり、就業規則等の改正、新設に向け精査を行った。

### 財政体質の強化

- ・インボイス対応として契約方法の見直しや契約内容について検討した。
- ・事務作業のデジタル化を推進し、経費の削減への検討を行った。

### **関係団体との連携**

- ・兵庫県、西宮市、全シ協、兵シ協、近隣シルバー人材センター、社会福祉協議会など関係機関との連携に努めた。
- ・先進シルバー人材センターの情報収集を行った。
- ・明石市シルバー人材センターから、広報紙配布事業の視察を受け入れ、別館仕分け作業等を紹介した。
- ・芦屋市シルバー人材センターから視察訪問を受入れ、会員増員状況等を中心に幅広く意見交換を行った。

## **(8) 事務の効率化と職員の人材育成【事務局】**

- ・公募型プロポーザル制度を実施し、経営改善策策定等支援業者の選定を行った。
- ・「経営改善戦略」を理事会の助言、指導の下策定した。
- ・組織体制の見直しに取り組み、常勤一般職員及び嘱託職員の採用試験を実施した。
- ・一般家庭向け草抜き事業において、会員の負担を軽減し、受注引き合いに応えるべく安全な機械の導入を試行した。

### **派遣事業への取り組み (公社) 兵庫県シルバー人材センター協会と連携した事業**

- ・新規受注は、請負か派遣かを見極め適正就業となるように取組んだ。

### **有料職業紹介事業 (公社) 兵庫県シルバー人材センター協会と連携した事業**

- ・令和7年度は有料職業紹介に至るまでの相談事例はなかった。

### **効率的かつ適正な事務局業務の推進**

- ・兵シ協並びに阪神ブロック（8市1町）の各シルバー事務局と随時、事務局業務について情報交換を行った。
- ・全シ協、近シ協、兵シ協が実施した研修会等に参加し、事務能力の向上に努めた。
- ・先進シルバー人材センター視察として、尼崎市シルバー人材センター、伊丹市シルバー人材センターを訪問し、職員体制や就業開拓等の教を請うた。
- ・先進シルバー人材センターとして、埼玉県草加市シルバー人材センター・東京都杉並区シルバー人材センターを視察し、就業開拓・デジタル化契約等の取入れ状況について教を請うた。
- ・芦屋市シルバー人材センターと、厚生労働省が推進する包括的契約の状況等について活発な意見交換を行った。
- ・毎週月曜を定例の就業相談会とし、会員の希望により随時就業相談を実施した。  
相談者 70名(令和6年度 55名)
- また、会員増強委員会との連携で入会説明会時に個別就業相談を行った。
- ・広報紙配布完了報告書や就業報告書などの紙の提出削減のため、「デジタル化整備促進チーム」と連携し、専用メールアドレスへの提出を会員に促し、事務効率

と経費削減への検討を進めた。

- ・長期就業事案の解消に向けた取組を進めた。
- ・不要不急な支出は行わず、公益法人に相応しい適切な支出に努めた。

### インボイス制度への対応

- ・厚労省、全シ協が推奨する「新たな契約方法」について一部の受注に適用するとともに情報収集を行った。公共事業の次年度からの採用に取り組んだ。
- ・センター財政を圧迫するインボイス制度に対応し、事務费率引き上げの具体的手法に係る計画を作成中である。
- ・インボイス制度への対応として、特例的措置を市長会、副市長会へ引き続き要望した。

### 会員向けインターネット専用サイト (Smile to Smile) による情報発信

- ・事務の効率化及び郵送料の削減のため会員向けサービス Smile to Smile を推進し、会員向け会報誌等を紙の郵送から切り替え、ペーパーレスに取り組んだ。
- ・会員への情報発信のデジタル化に向け、デジタル化整備促進チームと連携し、各地区に出向きスマホ講座を開催した。
- ・毎週火曜日午前中に「スマホ相談会」を開催とし、Smile to Smile の普及に努めた。

### 理事会、委員会、地区地域班との連携強化

- ・理事会、委員会への支援を行った。
- ・地区地域班活動に、随時支援を行った
- ・兵シ協事務局長会議、兵シ協担当職員会議、阪神ブロック会議、阪神ブロック職員研修会等に出席し、情報収集と連携を図った。